



もしこの一生が輝かなかったら、どうなるのだろうか？

ズオン ティ ホン ニュン

DUONG THI HONG NHUNG

最近、私の故郷であるベトナムでは「もしこの一生が輝かなかったら、どうなるのだろうか」という言葉が若者の間で静かに広がっています。一見すると、この言葉は少し消極的で夢や成功をあきらめるような印象を与えるかもしれませんが、しかし、私はこの言葉を単なる否定的な考え方ではなく、現代社会に生きる人々の不安や葛藤を表しているものだと感じています。そして同時にそれは自分の生き方を見つめ直すための大切な問いでもあると思います。子どもの頃、私たちは将来について明るい夢を持っていました。「大人になったら成功したい」「有名になりたい」「人から尊敬される人になりたい」といった理想を自然に思い描いていたと思います。周りの大人たちも、「努力すれば必ず結果が出る」と教えてくれました。そのため私たちは他人よりも優れることや、より高い目標を達成することを大切にしてきました。しかし、成長するにつれて、現実とはそれほど単純ではないと気づくようになります。どれだけ努力しても思うようにいかないことや自分よりも才能や環境に恵まれている人がいることを知り、次第に自信を失ってしまうこともあります。特に現代ではSNSの影響が非常に大きいと感じます。スマートフォン一つで他人の成功や幸せそうな瞬間を簡単に見ることができます。旅行、仕事の成功、人間関係の充実など、華やかな場面ばかりが目に入るため、自分の生活が地味でつまらないものに感じられてしまうことも

あります。その結果、「自分の人生はこのままでいいのだろうか」「なぜ自分の人生はこんなに普通なのだろうか」と悩む人が増えているのではないのでしょうか。

このような状況の中で「もしこの一生が輝かなかったら、どうなるのだろうか」という言葉は多くの人の心に共感を呼んでいるのだと思います。この言葉は「必ずしも輝かなければならないのか」という問いを私たちに投げかけています。そして、「輝くこと」だけが人生の価値ではないのではないかという新しい視点を与えてくれます。実際に普通に生きることは決して簡単なことではありません。毎日きちんと起きて仕事や勉強を続け、人との関係を大切にしながら生活することはそれだけでも十分に意味のあることです。特別に目立たなくても小さな幸せを積み重ねることで心は豊かになっていくのではないのでしょうか。例えば家族と一緒に食事をする時間や友人と何気なく会話をする瞬間など日常の中には大切な価値がたくさんあります。私は人生の価値は「どれだけ輝いたか」ではなく、「どれだけ自分らしく生きられたか」にあると考えています。他人からどう見られるかではなく、自分が納得できる生き方をするのが重要です。たとえ派手な成功がなくても自分の選んだ道を大切にしながら歩いていくことができればその人生は十分に意味のあるものになるでしょう。皆も日々努力して意味のある人生と一緒に歩いていきましょう。

受賞の喜び



国 籍 ベトナム
職 種 電子機器組立て
実 習 実 施 者 株式会社シーエス工業
監 理 団 体 協同組合アシスト

ズオン ティ ホン ニュン

公益財団法人 国際人材協力機構（JITCO）様

このたび、作文コンクールで入賞することができ、とても嬉しく思っています。結果を知ったときは、自分の作文が選ばれるとは思っていなかったのですが、本当に驚きました。同時に、これまで日本語を勉強してきた時間や、日本で過ごしてきた日々を振り返りました。

日本に来てから、言葉や文化の違いに戸惑ったり、自分の気持ちをうまく伝えられなかったりすることもありました。それでも、毎日の生活の中で日本語を学び、さまざまな経験を重ねながら、少しずつ成長してきたと思います。今回の作文を書くことは、自分の経験や考えを振り返る良い機会になりました。

私の作文を読んだ方が、少しでも前向きな気持ちになり、「もう少し頑張ってみよう」と思ってくださったら、本当に嬉しく思います。これからも日本で暮らす外国人同士が経験や知識を分かち合い、支え合いながら、一緒に成長していけたらと思います。

このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。今回の経験を励みに、これからも日本語の勉強を続け、前向きに頑張っていきたいと思っています。

指導員のことば

優秀賞の受賞、本当におめでとうございます。来日直後は言葉や文化の違いに戸惑う姿もありましたが、毎日の努力を積み重ね、周囲を思いやり支え合えるまでに頼もしく成長してくれました。

技能実習生の皆様には、気持ちを汲み取り安心して学べる環境作りを心がけてきました。作文では、日頃の真摯な姿勢と丁寧な仕事ぶりがそのまま伝わる素晴らしい表現力が発揮され、自分の言葉で想いを伝え、読む人を前向きにしてくれた今回の文章は、日頃の真摯な姿勢そのものです。

努力が実を結び、会社の代表として誇らしく思います。今回の経験を大きな自信にし、これからも目標に向かって笑顔で歩いていってください。これからも応援しています。

株式会社シーエス工業 代表取締役 其田 彰二